

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立県民文化ホール

所管課 観光文化部 文化振興・文化財課

指定管理者 アドブレン・共立・NTT-F共同事業体

構成団体 株式会社アドブレン社、株式会社共立、株式会社NTTファシリティーズ

### 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 やまなし文化学習協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	608,280,160
アドブレン・共立・NTT-F共同事業体		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	800,000,000
アドブレン・共立・NTT-F共同事業体		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	808,564,000
アドブレン・共立・NTT-F共同事業体		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	758,631,490

### 2 施設の概要

所在地	甲府市寿町26-1
設置年月日	昭和57年11月23日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例
設置目的	芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する事を目的とする。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)文化芸術に関する催し及び講座の実施に関する業務 (4)舞台芸術の公演の実施に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約21,635㎡ ○建築面積 約9,259㎡ ○建築延床面積 約20,018㎡ ○建物の構造 地上4階、地下1階、塔屋1階、鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造り  ○施設の内容 ・大ホール(客席、ホワイエ含む) 約3,594㎡ 定員:1,989人 ・小ホール(客席、ホワイエ含む) 約1,725㎡ 定員:700人 ・練習室、リハーサル室、楽屋、会議室 約1,455㎡ ・県民ロビー 約179㎡ ・事務室、機械室、倉庫等 約12,977㎡ ・駐車場 約5,614㎡ ・レストラン(客席、厨房) 約237㎡ 定員:約100人
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

### 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	333,695,987	340,108,676	334,116,343	305,381,554	314,049,248	
支出合計	337,991,006	341,693,900	341,396,625	297,158,316	317,366,553	
収支差額	△ 4,295,019	△ 1,585,224	△ 7,280,282	8,223,238	△ 3,317,305	

### 4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	357,016人	371,733人	292,296人	75,996人	160,325人	貸館利用者数、 事業参加者数の合計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

### 5 運営目標の達成状況(令和3年度)

施設及び設備器具の維持保全にあたり、基本協定書、事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については定期報告書を県に提出し確認を受けている。日々の点検の中で、老朽化等に伴い不具合が発現した簡易な修繕工事を21件施工した。

利用状況については、周期的な新型コロナウイルス感染拡大の波の影響を受け、利用の見直しが相次ぎ、大小ホールの稼働率は54.7%(目標値(70%))にとどまった。

また、利用者数も稼働率の減少に加え、開催制限(収容人数の制限)等の影響もあり、160,325人と目標値(364,600人)を大きく下回った。

文化事業においては、文化庁が募集する「コロナ禍を見据えた新たな事業」で補助金を獲得するなどし、感染拡大防止対策を徹底しながら22事業を実施(9事業中止)、アウトリーチ事業も4か所で開催でき、可能な限りの取り組みを県民に対して行った。

利用者満足度では、施設全体の満足度が、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて99.9%、「窓口」では100%、「サービス内容」については、99.9%と高い評価を得た。

### 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

維持管理業務、運營業務等は、提案書、協定書、業務計画書等に基づき、適正に執行されており、総合的な利用者満足度も高い。

利用者数は、イベント等の開催制限(収容人数の制限)があったこともあり目標値を下回った。

ホールの稼働率についても、まん延防止等重点措置等の影響もあり目標値を下回った。

引き続き、新型コロナウイルス感染症を見据えた対応をするとともに、「新しい生活様式」に合った新たな事業展開、広報活動等により、利用者数の増加と施設利用率の向上に努められたい。

開館から39年が経過している。適切な施設の維持管理を図るため、日常的にきめ細やかな施設点検や修繕を実施し、利用者に安全で安心な施設運営に努めるよう指示した。

### 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

依然としてコロナ禍の影響が続く状況下で、指定管理者としてのノウハウを最大限生かした運営を行う。稼働率、利用者数ともに徐々に回復傾向にあるが、伸び率は鈍い。新聞、放送、SNS、ホームページ等あらゆるメディアを活用して、利用割引制度、ホール開催イベント等の広報活動を積極的に行う。グリーン・ゾーン認証施設であり、安心して利用できる施設である事もアピールする。また、大手プロモーター、アーティスト事務所への営業を強化するとともに、新たな連携先の開拓を図りイベントの誘致を図る。

事業については、利用料収入関連の収入が伸び悩む中、各機関の補助金制度を活用した事業を企画し、県民がより多く文化に触れる機会を創出する。(内容によっては、ライブ配信、アーカイブ化なども実施する。)

利用者満足度については、利用者アンケートの結果を分析し、毎月開催しているホール会議で対応の検討を行い、サービスの質の向上に努め、更なる満足度の上昇を目指す。

施設、設備については、業務計画書に基づき日々の点検を確実に実施し、設備の保全に万全な体制をとる。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立県民文化ホール

所管課 観光文化部 文化振興・文化財課

指定管理者 アドブレン・共立・NTT-F共同事業体

構成団体 株式会社アドブレン社、株式会社共立、株式会社NTTファシリティーズ

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	入館者数	305,305	329,256	259,479	64,319	145,097
	事業参加者数	51,711	42,477	32,817	11,677	15,228
	利用者数合計	357,016	371,733	292,296	75,996	160,325
	目標値	355,000	360,000	358,400	364,600	364,600
	実績/目標割合	100.6%	103.3%	81.6%	20.8%	44.0%
	目標値の設定方法	平成29年度の実績を基に、令和元年度以降の4年の目標値を設定。				
利用率	稼働率等(利用率)	71.0%	73.3%	68.8%	43.8%	54.7%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用日数/利用可能日数(大・小ホール)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)甲府市総合市民会館(アリーナ形式) 大ホール(2,000人)、小ホール(300人) (2)河口湖ステラシアター(野外施設) 大ホール(3,000人)、小ホール(200人) (3)東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール(1,000人)、小ホール(300人)
----------	---

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

県	電話交換機一部更新工事	2,420,000
管	大ホール舞台袖床仕上げ材貼替修繕工事	616,000
管	大ホール搬入口床仕上げ材貼替修繕工事	446,600
管	2階事務室入口階段床仕上げ修繕工事	429,000
管	小ホール入口床カーペット修繕工事 他17件	2,013,158

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

\*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	売上の24%	147,642	
5	随意契約	設置場所により25~26%/本	355,149	
1	随意契約	36円/本	126,347	
1	随意契約	缶:30円/本 ペット:37.5円/本	124,432	
4	随意契約	売上の20%	171,226	
5	随意契約	缶・ペット20~25%/本 カップ50%/杯	313,373	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	A 収入額計	333,695,987	340,108,676	334,116,343	305,381,554	314,049,248
	施設利用料	119,803,800	124,283,535	102,271,140	49,118,230	97,603,670
	指定管理委託料	161,713,000	161,713,000	161,416,000	223,188,000	171,265,000
	追加委託料(感染症)			4,165,490	11,069,070	
	事業収入	26,272,940	28,719,800	42,816,728	11,343,101	27,927,532
	駐車場収入	16,218,600	16,382,050	13,832,450	5,942,450	9,735,840
	広告料	1,936,240	1,866,240	1,878,720	1,780,900	1,736,900
	自動販売機収入	2,691,275	2,869,911	2,382,660	675,448	1,238,169
	レストラン収入	1,702,781	1,673,307	1,510,417	129,468	1,476,479
チケット販売手数料等	3,357,351	2,600,833	3,842,738	2,134,887	3,065,658	
支出	B 支出額計	337,991,006	341,693,900	341,396,625	297,158,316	317,366,553
	人件費	104,029,920	104,029,920	102,246,360	103,184,400	103,184,400
	修繕費	3,787,373	2,937,799	3,329,266	5,452,224	3,504,758
	光熱水費	38,227,666	40,092,616	34,906,022	21,071,075	32,490,427
	その他保守点検費	249,814	113,400	113,400	481,800	500,500
	一般消耗品費	3,496,485	3,946,705	4,424,117	2,381,586	2,734,511
	舞台消耗品費	3,240,000	3,240,000	3,241,284	2,350,040	2,333,474
	燃料費	1,544,442	2,928,535	2,180,980	2,414,420	2,198,960
	通信運搬費	1,341,126	1,301,024	1,257,452	1,157,373	1,164,515
	広告費	6,899,800	6,899,800	6,966,850	7,027,900	7,027,900
	賃借料(事務機等)	10,044,374	9,510,854	9,809,646	9,893,758	9,893,757
	備品購入費		378,000			260,000
	運営事務管理経費	2,604,094	2,513,032	2,605,894	2,578,915	2,609,482
	文化事業費	72,257,140	69,539,500	75,142,737	34,103,070	52,367,000
	印刷製本費	392,502	507,269	225,942	121,726	12,320
	チケットシステム費	666,306	690,228	699,438	668,690	1,284,965
	感染症拡大防止対策費				574,381	555,087
	新しい生活様式対応経費				819,000	1,000,000
	その他	2,157,536	6,012,790	2,674,157	1,439,931	1,831,297
	外部委託費	87,052,428	87,052,428	91,573,080	92,413,200	92,413,200
	清掃業務	14,646,852	14,646,852	15,696,000	15,840,000	15,840,000
	警備業務	19,764,000	19,764,000	20,705,640	20,895,600	20,895,600
	建物維持総合管理	19,542,816	19,542,816	30,973,440	31,257,600	31,257,600
	設備関係保守費	9,275,040	9,275,040			
	舞台設備保守(設備)	4,968,000	4,968,000	5,009,640	5,055,600	5,055,600
	臨時(アルバイト)	6,264,000	6,264,000	6,317,640	6,375,600	6,375,600
	その他(ピアノ保守等)	12,591,720	12,591,720	12,870,720	12,988,800	12,988,800
外部委託比率	25.8%	25.5%	26.8%	31.1%	29.1%	
県への納付金				9,024,827		
収支差額(A-B)	△ 4,295,019	△ 1,585,224	△ 7,280,282	8,223,238	△ 3,317,305	

一人当たり指定管理者委託料*	453.0	435.0	552.2	2,936.8	1,068.2
----------------	-------	-------	-------	---------	---------

\* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計	13,036,255	7,886,143	8,387,595	5,487,842	7,539,482
D 支出額計	10,525,273	6,014,376	7,714,777	4,686,253	6,301,204
収支差額(C-D)	2,510,982	1,871,767	672,818	801,589	1,238,278

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和3年4月～令和4年3月 実施方法:貸館利用者へのアンケート 回答数:877人(回収率:89.3%)			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の充実度	89.5%	10.2%	0.3%	
②音響照明設備	90.2%	9.6%	0.1%	0.1%
③通路やロビー	89.9%	10.1%		
④窓口	91.8%	8.2%		
⑤サービス内容	91.4%	8.5%	0.1%	
施設全般の満足度	91.1%	8.8%	0.1%	
利用者の主な意見	①空調が効いておらず暑かった(寒かった)。(合計5件) ②ロビーが少し暗いです。			
利用者の意見への対応	①新型コロナウイルス感染症対策として、施設内の二酸化炭素濃度が1000ppmを超えると外気を取り込む空調システムの設定となっている。しかし、現行の空調機ではこの外気(夏の暖気、冬の冷気)を冷やし(暖める)きる能力が劣る。利用者へは事前に説明している。 ②当ホールは文化芸術施設の要素として、全体的に暗めを基調とした設計になっている。さらに、2月以降は外壁工事で、建屋南側に足場がかかっているため通用より薄暗くなっている。県施設のLED化事業がスタートしており、数年後にはLED照明に置き換わる予定。さし当たり、小ホールホワイエのダウンライト6器についてはLEDに変えた。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理 業 務	<p>業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に業務を遂行した。</p> <p>施設面では県の長寿命化計画に基づいた外壁・屋上防水改修、県民ロビー天井改修、建具改修、非常用発電設備改修工事などの設計調査に対する協力を行い、円滑な工事発注に寄与した。</p> <p>また、工事に際しては円滑に進捗するように施設面での運用や管理の調整を図りながら協力した。</p> <p>他方で日常点検、各種法定点検を確実に実施し、不具合等が発現した時は、小修繕で対応して建物や設備の改善に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止への対策として特に夏季における催事の空調運転では検討と試行を繰り返しながら室内空気環境の改善に努めた。</p> <p>また、施設利用後の客席やドアノブなど接触感染の恐れがある部位はエタノールなど殺菌剤を用いた消毒、清拭を行い、感染の予防を図った。</p> <p>引き続き、安全で安心して利用できる優しい施設となることを目指した対応に努める。</p>	<p>施設及び設備器具の維持保全に関する業務に係る計画書に従い、施設の維持管理業務は適切に実施された。</p> <p>長寿命化計画に基づいた工事の設計調査に対する協力、工事に対する協力を行ったことは評価できる。</p> <p>日常点検、各種法定点検を確実に実施し、不具合等が発現した時は、小修繕で対応し、建物、設備の改善が適切に実施された。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、室内空気環境の改善及びドアノブ、便座等の共有部分への適切な消毒、清拭等の感染予防に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、日頃より適切な点検や感染防止対策の徹底を図ることにより、利用者が安全、安心、快適に施設を利用することができるよう、施設の維持管理に努めること。</p>
運營業務	<p>本県の文化振興を担う中核施設としてウィズコロナ時代を見据えた運営を行った。</p> <p>文化事業では、施設の利用料収入が大きく減少し財源も減少する中、文化庁や(一財)地域創造の補助金・助成金対象事業に応募し、文化事業を積極的に行った。また、コロナ禍の新しい様式として展開しているアウトリーチ活動もコロナ禍により受入先の交渉に苦労したが、県内の小学校、高校4校で実施した。</p> <p>来場アンケートでは、コロナ禍でも舞台公演を観覧できたことを喜んだり、ホールの取り組みを応援していただく声が多く集まった。</p> <p>貸館では「やまなしグリーン・ゾーン認証施設」として、職員、利用者、来場者に対して感染対策をハード、ソフト両面において徹底した。</p>	<p>ウィズコロナ時代を見据え、補助金・助成金対象事業に応募し、文化事業を積極的に行うとともに、新しい様式を取り入れるなど、県民の文化活動への参加意欲向上につなげる積極的な取り組みを実施していることは評価できる。</p> <p>引き続き、県民ニーズを的確に把握し、本県の文化芸術振興につながる積極的な施設の利用促進を目的とした取り組みの実施に努めること。</p>
利用状況	<p>稼働率は、周期的な新型コロナウイルス感染拡大の波の影響を受け、特に8月20日からのまん延防止等重点措置、1月初旬からのイベント参加者全員の陰性確認依頼等の影響もあり、伸び悩んだ。特に、一般会社の利用が落ち込んだ。</p> <p>また、利用者数についてはイベント等の開催制限(収容人数の制限)などの影響もあり稼働率以上に伸び悩んだ。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、稼働率、利用者数とも目標を下回った。</p> <p>引き続き、利用者のニーズを把握するとともに、魅力あるイベントの実施、誘致するなどして、利用促進に努めること。</p>

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

収支状況	施設利用が回復傾向にはあるものの、利用料収入が例年の80%程度に留まった。関連して、駐車場収入、自販機収入も落ち込んだ。一方、経費節減、施設利用減による光熱水費の減により赤字額を縮小する事ができた。	指定管理委託料を除く収入は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年より少ないが、昨年度と比べ増加傾向にある。支出は、人件費等固定経費の割合が大きく、大幅な節減等は困難であるが、引き続き、経費節減対策に努めること。現状をふまえた新しい視点での取り組みなどにより、収入増に努めること。
自主事業	共同事業体が進める「ホールアテンダント」では、多くの利用者の相談を受け、高い評価を頂いている。昨年同様に公演に関する業務の一部、または全部を請け負った。今年度は、特に公演時の感染症対策について相談が多く、運営面での請負業務が多かった。	利用者にとって利便性の高い業務をワンストップで提供している取り組みを利用者に周知し実施している点は評価できる。引き続き、この取り組みが利用者に広く浸透し、さらなる効果に繋がるよう努めること。
利用者満足度	利用者アンケートを実施し高い評価を頂いた(満足度99.9%)。ホールも令和4年度に40周年を迎え、経年劣化による不具合がいたる所で発生している。日常の点検を通して状況を把握し、指定管理者が行う小規模改修の計画を立てている。ソフト面に関しては、「窓口」、「サービス内容」について引き続き高い評価(満足・どちらかと言えば満足が99.9%以上)を頂いた。今後も利用者から高い評価を頂けるよう、全力で取り組む。	施設全体の満足度は、99.9%であるとともに、全ての調査項目でにおいて、99%以上の高い評価となっている。この状況を維持するとともに、利用者の声を積極的に把握することで、更なるサービスの質の向上に努めること。

### 8 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
優れた鑑賞機会の提供業務	優れた鑑賞機会の提供を図るため、主催事業の開催数を評価指標とし、目標値を10回に設定 22回開催し、実績が目標を上回る結果となった。	引き続き、目標値を上回る主催事業を開催する。
優れた鑑賞機会の提供業務	優れた鑑賞機会の提供を図るため、主催事業の入場者数を評価指標とし、目標値を10公演の入場者目標を3,790人に設定 主な10公演で5,457人の入場者があり、実績が目標を上回る結果となった。	引き続き、魅力ある主催事業を開催し、目標値を上回る入場者数を獲得する。
優れた鑑賞機会の提供業務	優れた鑑賞機会の提供を図るため、主催事業の満足度を評価指標とし、アンケート結果の満足、どちらかといえば満足の合計を90%に設定 100%が満足、どちらかといえば満足という結果になり、実績が目標を上回る結果となった。	この状況を維持するとともに、利用者の声を積極的に把握することで、魅力ある事業の開催に努める。
戦略的貸館業務	相手方から申請のある公演のみでは事業に限られるため、指定管理者が誘致する大手プロモーターが手がける公演の回数を評価指標とし、目標値を10回に設定 10回開催し、実績が目標を達成した。	引き続き、誘致を続け、様々な公演を開催する。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

